

2021年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年1月28日
東

上場会社名 大日本住友製薬株式会社 上場取引所
 コード番号 4506 URL <https://www.ds-pharma.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 野村 博
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員 コーポレートコミュニケーション担当（氏名） 樋口 敦子 (TEL) 03-5159-3300
 四半期報告書提出予定日 2021年2月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	394,762	10.6	72,555	12.9	87,536	7.5	57,908	31.7	70,257	59.8	8,942	△74.1
2020年3月期第3四半期	357,017	2.9	64,254	15.0	81,461	73.9	43,979	10.0	43,979	10.0	34,462	△38.5

(参考) 税引前四半期利益 2021年3月期第3四半期 79,725 百万円 2020年3月期第3四半期 84,422 百万円

※コア営業利益は、営業利益から当社が定めた非経常的な原因による損益（調整項目）を除いて算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	176.84	—
2020年3月期第3四半期	110.70	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	1,308,837	638,570	547,164	41.8	1,377.23
2020年3月期	1,256,534	635,860	532,670	42.4	1,340.74

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2021年3月期	—	14.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当 り当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	506,000	4.8	47,000	△34.7	58,000	△30.3	21,000	△41.5	42,000	3.1	105.71

(参考) 税引前利益 通期 57,000百万円

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期第3四半期	397,900,154株	2020年3月期	397,900,154株
② 期末自己株式数	2021年3月期第3四半期	605,685株	2020年3月期	605,038株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期第3四半期	397,294,800株	2020年3月期第3四半期	397,295,852株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料には、当社グループに関する業績その他の予想、見通し、目標、計画その他の将来に関する事項が含まれています。これらの事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定、見積り、見通しその他の判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。したがって、その後のさまざまな要因により、予想・計画などが記載どおりに実現しない可能性や、実際の業績、開発の成否・進捗その他の見通しなどが記載内容と大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件などにつきましては、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・四半期決算短信の開示とあわせて、四半期決算補足資料および四半期決算カンファレンスコール説明資料を開示しております。

・当社は、2021年1月28日(木)に機関投資家・アナリスト向けに、第3四半期決算カンファレンスコールを開催する予定です。このカンファレンスコールの音声については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) キャッシュ・フローに関する説明	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	5
(2) 要約四半期連結財政状態計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、国際会計基準（以下「IFRS」）に準拠した連結財務諸表を開示しております。

なお、文中における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

(業績管理指標「コア営業利益」について)

当社グループでは、会社の経常的な収益性を示す利益指標として、「コア営業利益」を設定し、これを当社独自の業績管理指標として採用しております。

「コア営業利益」は、営業利益から当社グループが定める非経常的な要因による損益（以下「非経常項目」）を除外したものとします。非経常項目として除かれる主なものは、減損損失、事業構造改善費用、企業買収に係る条件付対価公正価値の変動額等です。

当第3四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、以下のとおりであります。

(単位：億円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	増減	増減率 (%)
売上収益	3,570	3,948	377	10.6
コア営業利益	643	726	83	12.9
営業利益	815	875	61	7.5
税引前四半期利益	844	797	△47	△5.6
四半期利益	440	579	139	31.7
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	440	703	263	59.8

■ 売上収益は3,948億円（前年同四半期比10.6%増）となりました。

日本セグメントは、昨年度に販売を開始した2型糖尿病治療剤「エクア」および「エクメット」の寄与などにより増収となりました。また、北米セグメントにおいても、当社グループの収益の柱である非定型抗精神病薬「ラツード」の売上が拡大したことなどにより増収となりました。

■ コア営業利益は726億円（前年同四半期比12.9%増）となりました。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、販売関連費用等が低調に推移するなか、昨年度に取得したスミトバント・バイオファーマ・リミテッド（以下「スミトバント社」）およびその傘下の子会社の費用が認識されたことにより、コアベースの販売費及び一般管理費ならびに研究開発費は増加しましたが、増収による売上総利益の増加が大きく、コア営業利益は増益となりました。

■ 営業利益は875億円（前年同四半期比7.5%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間において、当社旧茨木工場の売却に伴う固定資産売却益を計上したことにより、営業利益はコア営業利益に比べ増加しました。なお、前第3四半期連結累計期間においては、ナパブカシンの膵がん患者を対象としたフェーズ3試験の中止決定に伴い、条件付対価公正価値が大きく減少し、多額の費用戻入が発生したことにより、営業利益はコア営業利益に比べ増加しました。

■ 税引前四半期利益は797億円（前年同四半期比5.6%減）となりました。

営業利益は増益となりましたが、受取利息などの金融収益の減少に加え、支払利息や当社が保有する外貨建て金融資産に生じた為替差損などの金融費用が増加したことにより、税引前四半期利益は減益に転じました。

■ **四半期利益は579億円（前年同四半期比31.7%増）となりました。**

税引前四半期利益は減益となりましたが、法人所得税が大きく減少し、四半期利益は増益となりました。前第3四半期連結累計期間は、ナパブカシンの膝がん患者を対象としたフェーズ3試験の中止決定などに伴い、米国において認識していた繰延税金資産の取崩しを行いました。当第3四半期連結累計期間にはこのような要因はないことから、法人所得税が大きく減少することとなりました。

■ **親会社の所有者に帰属する四半期利益は703億円（前年同四半期比59.8%増）となりました。**

スミトバント社傘下の非支配持分を有する子会社の業績が損失となったため、四半期利益から非支配持分に帰属する損失額を控除した親会社の所有者に帰属する四半期利益は、四半期利益に比べ増加しました。

なお、親会社の所有者に帰属する四半期利益の売上収益に対する比率は17.8%となりました。

(セグメント業績指標「コアセグメント利益」について)

セグメント別の業績では、各セグメントの経常的な収益性を示す利益指標として、「コアセグメント利益」を設定し、当社独自のセグメント業績指標として採用しております。

「コアセグメント利益」は、「コア営業利益」から、グローバルに管理しているため各セグメントに配分できない研究開発費、事業譲渡損益等を除外したセグメント別の利益となります。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

【日本】

■ **売上収益は1,185億円（前年同四半期比13.7%増）となりました。**

「エクア」および「エクメット」の増収に加え、2型糖尿病治療剤「トルリシティ」の売上が伸長したことや、本年度に販売を開始した「ラツダ」の寄与などにより、増収となりました。

■ **コアセグメント利益は230億円（前年同四半期比14.4%増）となりました。**

増収による売上総利益の増加に加え、COVID-19の影響により販売関連費用など販売費及び一般管理費が減少したことにより、増益となりました。

【北米】

■ **売上収益は2,180億円（前年同四半期比11.4%増）となりました。**

「ラツダ」に加え、抗てんかん剤「アプティオム」などの売上が伸長したことや、スミトバント社傘下のマイオバント・サイエンシズ・リミテッドにおいて、ライセンス契約に基づき受領した契約一時金等の一部を売上として認識したことにより、増収となりました。

■ **コアセグメント利益は1,045億円（前年同四半期比15.8%増）となりました。**

スミトバント社および傘下の子会社で発生した費用などにより販売費及び一般管理費は増加しましたが、増収による売上総利益の増加が大きく、増益となりました。

【中国】

■ **売上収益は191億円（前年同四半期比5.4%減）となりました。**

カルバペネム系抗生物質製剤「メロペン」の売上が減少したことにより、減収となりました。

■ **コアセグメント利益は85億円（前年同四半期比9.2%減）となりました。**

販売費及び一般管理費は減少しましたが、減収による売上総利益の減少が大きく、減益となりました。

【海外その他】

■ **売上収益は115億円（前年同四半期比31.9%増）となりました。**

輸出の増加により、増収となりました。

■ **コアセグメント利益は53億円（前年同四半期比67.8%増）となりました。**

増収による売上総利益の増加により、大幅な増益となりました。

上記報告セグメントのほか、当社グループは、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品等の販売を行っており、これらの売上収益は277億円（前年同四半期比2.0%減）、コアセグメント利益は29億円（前年同四半期比17.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産については、非流動資産では、その他の金融資産が、当社が保有する投資有価証券の公正価値評価により減少したことに加え、償却や為替換算により無形資産が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ483億円減少しました。

流動資産は、短期貸付金の減少によりその他の金融資産が減少しましたが、現金及び現金同等物や営業債権及びその他の債権等が増加した結果、前連結会計年度末に比べ1,006億円増加しました。

これらの結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ523億円増加し、1兆3,088億円となりました。

負債については、営業債務及びその他の債務や未払法人所得税が減少しましたが、連結子会社における開発および販売提携契約の締結により、その他の非流動負債に含まれる前受収益が増加したことに加え、引当金などが増加しました。また、長期借入の実施や劣後特約付社債の発行による資金調達を行い、短期借入金の返済を行った結果、非流動負債の社債及び借入金が増加し、流動負債の借入金が増加しました。

これらの結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ496億円増加し、6,703億円となりました。

親会社の所有者に帰属する持分は、その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の変動などのその他の資本の構成要素は減少しましたが、利益剰余金が増加した結果、前連結会計年度末に比べ145億円増加し、5,472億円となりました。また、非支配持分は、スミトバント社傘下の非支配持分を有する子会社の業績が損失となったため、前連結会計年度末に比べ118億円減少しました。

これらの結果、資本合計は前連結会計年度末に比べ27億円増加し、6,386億円となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間末の親会社所有者帰属持分比率は41.8%となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人所得税の支払額が増加しましたが、引当金の増加などのキャッシュの増要因や連結子会社における開発および販売提携契約の締結による契約一時金の受領などにより、前第3四半期連結累計期間に比べ711億円収入が増加し、1,079億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、当社旧茨木工場の譲渡により有形固定資産の売却に伴う収入が増加しました。前第3四半期連結累計期間には、ロイバント・サイエンシズ・リミテッド（以下「ロイバント社」）との戦略的提携に伴う同社株式の取得などによる投資の取得による支出や、スミトバント社およびその傘下の子会社の支配獲得による支出があったため、前第3四半期連結累計期間に比べ3,203億円支出が減少し、356億円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期連結累計期間には、ロイバント社との戦略的提携の対価の支払いのため短期借入による資金調達を実施しました。一方、当第3四半期連結累計期間には、長期借入の実施や劣後特約付社債の発行による資金調達を行い、短期借入金の返済を実施したことなどから、前第3四半期連結累計期間に比べ2,589億円収入が減少し、184億円の支出となりました。

上記の結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は2,198億円となり、前連結会計年度末に比べ1,181億円増加しました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、2020年10月28日に発表しました業績予想に変更はありません。

なお、2021年3月期通期連結業績は、第3四半期連結累計期間まで堅調に推移しています。また、本年2月に、ナパブカシンの結腸直腸がんを対象とした国際共同フェーズ3試験の解析結果を得る予定であり、これらを踏まえて、連結業績予想の修正が必要な場合には、速やかに開示します。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

【要約四半期連結損益計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上収益	357,017	394,762
売上原価	93,342	104,795
売上総利益	263,675	289,967
販売費及び一般管理費	97,800	147,019
研究開発費	83,696	71,670
その他の収益	773	17,525
その他の費用	1,491	1,267
営業利益	81,461	87,536
金融収益	3,324	1,123
金融費用	363	8,934
税引前四半期利益	84,422	79,725
法人所得税	40,443	21,817
四半期利益	43,979	57,908
四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	43,979	70,257
非支配持分	—	△12,349
四半期利益	43,979	57,908
1株当たり四半期利益(円)		
基本的1株当たり四半期利益	110.70	176.84

【要約四半期連結包括利益計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期利益	43,979	57,908
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目：		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の変動	△6,300	△24,913
確定給付負債（資産）の純額の再測定	—	△260
純損益にその後に振り替えられる可能性の ある項目：		
在外営業活動体の換算差額	△3,214	△23,814
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△3	21
その他の包括利益合計	△9,517	△48,966
四半期包括利益合計	34,462	8,942
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者持分	34,604	27,024
非支配持分	△142	△18,082
四半期包括利益合計	34,462	8,942

(注) 当第3四半期連結累計期間において、ロイバント社との戦略的提携に伴う企業結合により取得した資産および引き受けた負債について取得対価の配分が完了したため、前第3四半期連結累計期間の要約四半期連結包括利益計算書を遡及修正しております。詳細は、「要約四半期連結財務諸表に関する注記事項（企業結合及び非支配持分の取得）」に記載しております。

(2) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	65,748	62,756
のれん	173,464	164,998
無形資産	421,029	398,495
その他の金融資産	200,923	167,460
未収法人所得税	—	6,542
その他の非流動資産	4,173	3,886
繰延税金資産	27,107	39,985
非流動資産合計	892,444	844,122
流動資産		
棚卸資産	79,368	82,909
営業債権及びその他の債権	134,491	148,715
その他の金融資産	28,717	5,251
未収法人所得税	5,877	146
その他の流動資産	9,624	7,860
現金及び現金同等物	101,708	219,834
小計	359,785	464,715
売却目的で保有する資産	4,305	—
流動資産合計	364,090	464,715
資産合計	1,256,534	1,308,837

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債及び資本		
負債		
非流動負債		
社債及び借入金	25,020	264,560
その他の金融負債	41,306	41,750
退職給付に係る負債	23,870	24,523
その他の非流動負債	7,212	49,485
繰延税金負債	26,768	26,781
非流動負債合計	124,176	407,099
流動負債		
借入金	272,960	29,960
営業債務及びその他の債務	62,251	54,813
その他の金融負債	13,906	24,279
未払法人所得税	22,637	14,549
引当金	84,644	95,058
その他の流動負債	40,100	44,509
流動負債合計	496,498	263,168
負債合計	620,674	670,267
資本		
資本金	22,400	22,400
資本剰余金	17,837	16,432
自己株式	△677	△678
利益剰余金	457,330	516,243
その他の資本の構成要素	35,780	△7,233
親会社の所有者に帰属する持分合計	532,670	547,164
非支配持分	103,190	91,406
資本合計	635,860	638,570
負債及び資本合計	1,256,534	1,308,837

(注) 当第3四半期連結会計期間において、ロイバント社との戦略的提携に伴う企業結合により取得した資産および引き受けた負債について取得対価の配分が完了したため、前連結会計年度の連結財政状態計算書を遡及修正しております。詳細は、「要約四半期連結財務諸表に関する注記事項（企業結合及び非支配持分の取得）」に記載しております。

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の変動	確定給付負債(資産)の純額の再測定
2019年4月1日残高	22,400	15,861	△674	431,799	32,611	—
四半期利益	—	—	—	43,979	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△6,300	—
四半期包括利益合計	—	—	—	43,979	△6,300	—
自己株式の取得	—	—	△2	—	—	—
配当金	—	—	—	△13,111	—	—
子会社の取得	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	△2,390	2,390	—
所有者との取引額等合計	—	—	△2	△15,501	2,390	—
2019年12月31日残高	22,400	15,861	△676	460,277	28,701	—
2020年4月1日残高	22,400	17,837	△677	457,330	46,118	—
四半期利益	—	—	—	70,257	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△24,913	△260
四半期包括利益合計	—	—	—	70,257	△24,913	△260
自己株式の取得	—	—	△1	—	—	—
配当金	—	—	—	△11,124	—	—
非支配持分との取引	—	△1,405	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	△220	△40	260
その他の増減	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△1,405	△1	△11,344	△40	260
2020年12月31日残高	22,400	16,432	△678	516,243	21,165	—

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			合計	非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		合計			
	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ				
2019年4月1日残高	△3,853	△6	28,752	498,138	—	498,138
四半期利益	—	—	—	43,979	—	43,979
その他の包括利益	△3,072	△3	△9,375	△9,375	△142	△9,517
四半期包括利益合計	△3,072	△3	△9,375	34,604	△142	34,462
自己株式の取得	—	—	—	△2	—	△2
配当金	—	—	—	△13,111	—	△13,111
子会社の取得	—	—	—	—	111,568	111,568
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	2,390	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	—	2,390	△13,113	111,568	98,455
2019年12月31日残高	△6,925	△9	21,767	519,629	111,426	631,055

2020年4月1日残高	△10,309	△29	35,780	532,670	103,190	635,860
四半期利益	—	—	—	70,257	△12,349	57,908
その他の包括利益	△18,081	21	△43,233	△43,233	△5,733	△48,966
四半期包括利益合計	△18,081	21	△43,233	27,024	△18,082	8,942
自己株式の取得	—	—	—	△1	—	△1
配当金	—	—	—	△11,124	—	△11,124
非支配持分との取引	—	—	—	△1,405	6,249	4,844
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	220	—	—	—
その他の増減	—	—	—	—	49	49
所有者との取引額等合計	—	—	220	△12,530	6,298	△6,232
2020年12月31日残高	△28,390	△8	△7,233	547,164	91,406	638,570

(注) 当第3四半期連結累計期間において、ロイバント社との戦略的提携に伴う企業結合により取得した資産および引き受けた負債について取得対価の配分が完了したため、前第3四半期連結累計期間の要約四半期連結持分変動計算書を遡及修正しております。詳細は、「要約四半期連結財務諸表に関する注記事項（企業結合及び非支配持分の取得）」に記載しております。

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益	43,979	57,908
減価償却費及び償却費	12,902	14,620
減損損失	22,457	—
条件付対価公正価値の変動額	△40,811	381
有形固定資産売却損益(△は益)	△76	△16,753
受取利息及び配当金	△3,321	△1,105
支払利息	278	1,704
法人所得税	40,443	21,817
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△8,467	△17,257
棚卸資産の増減額(△は増加)	△7,365	△8,160
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	8,567	△5,430
前受収益の増減額(△は減少)	61	50,911
その他の金融負債の増減額(△は減少)	368	14,040
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	331	693
引当金の増減額(△は減少)	△3,719	14,878
その他	△6,913	11,189
小計	58,714	139,436
利息の受取額	2,454	182
配当金の受取額	1,113	934
利息の支払額	△219	△1,120
法人所得税の支払額	△25,289	△31,552
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,773	107,880
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,465	△4,413
有形固定資産の売却による収入	544	21,449
無形資産の取得による支出	△3,371	△3,982
投資の取得による支出	△112,615	△7,009
投資の売却及び償還による収入	490	3,626
子会社の支配獲得による支出	△205,774	—
短期貸付金の純増減額(△は増加)	42,462	25,724
その他	17	167
投資活動によるキャッシュ・フロー	△284,712	35,562

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	270,000	△245,000
長期借入れによる収入	—	125,000
長期借入金の返済による支出	△13,188	△2,220
社債の発行による収入	—	118,927
リース負債の返済による支出	△3,237	△3,559
配当金の支払額	△13,098	△11,110
非支配持分からの子会社持分取得による支出	—	△2,237
その他	△2	1,785
財務活動によるキャッシュ・フロー	240,475	△18,414
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,464	125,028
現金及び現金同等物の期首残高	137,296	101,708
現金及び現金同等物に係る換算差額	△484	△6,902
現金及び現金同等物の四半期末残高	129,348	219,834

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計方針)

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第3四半期連結累計期間の法人所得税は、見積年次実効税率を基に算定しております。

(セグメント情報等)

当社グループでは、会社の経常的な収益性を示す利益指標として、「コア営業利益」を設定し、これを当社独自の業績管理指標として採用しております。

「コア営業利益」は、営業利益から当社グループが定める非経常的な要因による損益（以下「非経常項目」）を除外したものとなります。非経常項目として除かれる主なものは、減損損失、事業構造改善費用、企業買収に係る条件付対価公正価値の変動額等です。

(1) 報告セグメント

当社グループは、主として医療用医薬品の製造、仕入及び販売を行っており、日本、北米、中国等マーケットごとに医薬品事業の業績管理を行っているため、日本、北米、中国、海外その他の4つを報告セグメントとしております。

なお、当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成要素のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

(2) セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失及びその他の項目は、以下のとおりであります。

なお、当社グループでは、各セグメントの経常的な収益性を示す利益指標として、「コアセグメント利益」を設定し、当社独自のセグメント業績指標として採用しております。

「コアセグメント利益」は、「コア営業利益」から、グローバルに管理しているため各セグメントに配分できない研究開発費、事業譲渡損益等を除外したセグメント別の利益となります。

なお、「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明」における報告セグメントに含まれない「その他」の区分に係るコアセグメント利益の金額及び前年同四半期比増減については、セグメント間取引として消去された利益を含めて記載しております。

① 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
外部顧客への売上収益	104,274	195,658	20,152	8,685	328,769	28,248	357,017
セグメント間の内部売上 収益	69	—	—	—	69	37	106
合計	104,343	195,658	20,152	8,685	328,838	28,285	357,123
セグメント利益 (コアセグメント利益)	20,131	90,239	9,355	3,169	122,894	2,438	125,332

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物及び化学製品材料、動物用医薬品等の事業を含んでおります。

② 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
外部顧客への売上収益等	118,539	218,012	19,065	11,459	367,075	27,687	394,762
セグメント間の内部売上 収益	63	—	—	—	63	33	96
合計	118,602	218,012	19,065	11,459	367,138	27,720	394,858
セグメント利益 (コアセグメント利益)	23,023	104,536	8,497	5,317	141,373	2,866	144,239

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物及び化学製品材料、動物用医薬品等の事業を含んでおります。

(3) 報告セグメント合計額と要約四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

調整額に関する事項は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

売上収益	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
報告セグメント計	328,838	367,138
「その他」の区分の売上収益	28,285	27,720
セグメント間取引消去	△106	△96
要約四半期連結財務諸表の売上収益	357,017	394,762

(単位：百万円)

利益	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
報告セグメント計	122,894	141,373
「その他」の区分の利益	2,438	2,866
セグメント間取引消去	14	3
研究開発費(注)	△61,210	△71,670
事業譲渡益等	121	—
その他	△3	△17
コア営業利益	64,254	72,555
条件付対価公正価値の変動額	40,811	△381
減損損失	△22,457	—
その他の収益	655	17,542
その他の費用	△1,491	△1,267
その他	△311	△913
要約四半期連結財務諸表の営業利益	81,461	87,536

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分しておりません。なお、要約四半期連結損益計算書における研究開発費との差額は、コア営業利益の算定から除外される減損損失及び研究開発関連費用であります。

(企業結合及び非支配持分の取得)

当第3四半期連結累計期間において重要な企業結合はありません。

当社とロイバント社との間の戦略的提携に伴う株式譲渡等の手続きが2019年12月27日付けで完了しました。ロイバント社は本戦略的提携のために設立した新会社であるスミトバント社にロイバント社の子会社5社の株式(Myovant Sciences Ltd.、Urovant Sciences Ltd.、Enzyvant Therapeutics Ltd.、Altavant Sciences Ltd. 及び Spirovant Sciences Ltd.)等に移管し、当社はスミトバント社の全株式を取得しました。

取得した資産及び引き受けた負債の公正価値は前連結会計年度末において暫定的な金額となっておりますが、当第3四半期連結累計期間において取得対価の配分が完了しました。これに伴い、取得日時点で存在した事実及び状況に関する新たな情報を反映させた結果、暫定的な公正価値を以下の通り修正しております。

取得資産及び引受負債の公正価値、非支配持分及びのれん

(単位：百万円)

科目	暫定的な公正価値	修正額	最終的な公正価値
非流動資産			
無形資産	291,643	△768	290,875
その他	3,661	-	3,661
流動資産			
現金及び現金同等物	18,781	-	18,781
その他	6,172	-	6,172
非流動負債	40,840	△100	40,740
流動負債	19,307	-	19,307
純資産	260,110	△668	259,442
非支配持分(注2)	107,783	3,785	111,568
のれん(注3)	72,228	4,453	76,681

- (注) 1 取得対価は、取得日における公正価値を基礎として、取得した資産及び引き受けた負債に配分しております。
- 2 非支配持分は、支配獲得日における識別可能な被取得企業の純資産の公正価値に、非支配株主に個別に帰属する部分を除き、企業結合後の非支配株主の持分割合で測定しております。
- 3 のれんの構成要因は、主として今後の事業展開により期待される将来の超過収益力を反映したものであります。また、当該のれんは税務上損金算入不能なものであります。

取得対価の配分が完了した結果、前第3四半期連結累計期間の要約四半期連結包括利益計算書、要約四半期連結持分変動計算書、前連結会計年度の連結財政状態計算書及び当第3四半期連結累計期間の要約四半期連結持分変動計算書における2020年4月1日残高について遡及修正しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。